

## 山内若菜の作品について

和紙や絵具の層を繰り返してこすり、破り、削ることのできた亀裂や作品の形状は、被ばくにより傷ついた人や動物の苦しみを自身のものとして分かち合い、寄り添おうとする作家の心と重なりあうものである。

家田奈穂

平塚市美術館学芸員／平塚市美術館主催「けずる絵 ひっかく絵」展(2022.4.9～6.12) 冊子より

命の重みを感じさせる生々しい現場に何度も足を運んで取材をしているから、この仕事は「ルポルタージュ」の一種と言えるのかもしれない。未来へ向けて記憶を刻み残す、神話的な叙事詩を歌っているかのようだ。

岡村幸宣

丸木美術館学芸員／岩波書店 月刊「図書」4月号より

## プロフィール

### 山内若菜 日本画

1977年神奈川県生。1999年武蔵野美術大学短期大学部専攻科美術専攻修了。以来国内外で個展、グループ展を中心に活動。2007年よりシベリア抑留の歴史を忘れないための文化交流として日本とロシアで個展を開催。東日本大震災後の2013年より、福島県内の被ばくした牧場での取材を開始する。2016、2021年原爆の因丸木美術館(埼玉)で個展。2017年ロシア国立極東美術館(ハバロフスク)で個展。2021年東山魁夷記念日経日本画大賞展入選。



### 塩高和之 琵琶・作曲

文化としての琵琶楽を標榜し、雅楽古典から現代曲まで独自の視点で捉え、作曲・演奏の両面において幅広い活動を続ける。さまざまな琵琶楽を紹介する琵琶楽人倶楽部を創設し、開催したレクチャーコンサートは170回に及ぶ。また国際交流基金によるシルクロードの国々へのコンサートツアー、ストックホルム大学・ロンドンシティ大学・東京外国語大学・明治大学・東洋大学などでの特別講義、石井絃美作曲「Himorogi I」の世界初演、能楽・日舞・コンテンポラリーダンスなど多様なジャンルのアーティストとのコラボレーション、10枚のCDアルバムのリリース・ネット配信など、活動は多岐にわたる。

オフィシャルサイト <http://biwa-shiotaka.com/>



### 大浦典子 笛

日本の伝統的横笛(篠笛、能管、龍笛、神楽笛など)を演奏、現代邦楽の合奏や、雅楽、民俗芸能の演奏のほか、ソロ、様々なアンサンブルの形で活動している。箏、三絃、琵琶などの邦楽器とのアンサンブルにどぎまらず、多様な洋楽器、民族楽器とのセッション、舞踊とのコラボレーションにも取り組んでいる。能管を能楽森田流松田弘之氏に、龍笛、高麗笛、神楽笛を伶楽舎宮丸直子氏に師事。篠笛は、仲林光子氏に手ほどきを受け、竹井誠、鯉沼廣行、村山二郎各氏に、古典、現代曲、民俗芸能の笛を学ぶ。



### 保多由子 歌

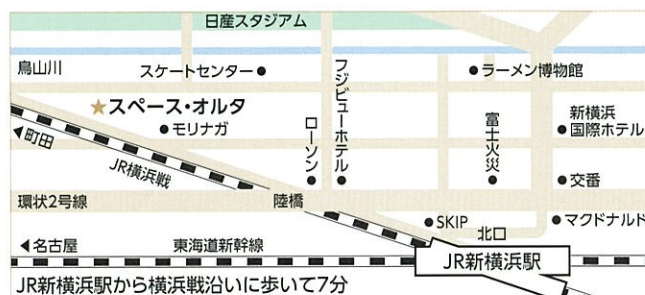
東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。バロックから現代までの幅広いレパートリーによるソロリサイタル、交響曲・ミサ曲・オラトリオなどの独唱、創作オペラ主役出演、現代日本の作曲家作品の初演、放送出演など、多彩な演奏活動を展開する。ソロアルバム「武満徹songs ～見えないこども」「シンプルソング」「保多由子 sings 寺嶋隆也～ふたたびは」はいずれもレコード芸術はじめメディア各誌で高く評価される。長年にわたる教育研究職を退いた近年は、ピアノによる弾き歌いや琵琶歌などでも新境地を拓く。

## プログラム

山内若菜	トーク「私のテーマはいのちです。」
塩高和之	祇園精舎(琵琶弾き歌い) 風の宴(琵琶) タイトル未定〈委嘱初演〉(琵琶・笛・歌)
他	

※曲目は変更される場合があります。

## 会場地図



〒222-0033 横浜市港北区新横浜 2-8-4 オルタナティブ生活館 B1

## 感染予防についてお願い

ご入場の際は、マスク着用、検温、手指の消毒へのご協力をお願いいたします。

体温37.5度以上の方はご入場をお断りさせていただきます。